

## 令和7年度 県立高校グローバルリーダー育成プロジェクト

### 1 事業内容

趣 旨	「アジアの中の日本」を意識し、グローバル・ローカルの両視点から、英語での発信力・交渉力・論理的思考力を鍛え、未来のグローバル日本社会を創造するリーダーの育成を図る。
国内プログラム	<p>第1回 7月12日(土) 開講式 (全電通埼玉会館 あげぼのビル)          ○教育委員会挨拶 (県立学校部長 田中 邦典)          ○趣旨説明 (高校教育指導課主幹兼主任指導主事 重竹 雅行)          ○生徒による決意表明</p> <p>第2回 8月7日(木) 英語集中研修・伝統文化理解研修 (県民健康センター)          ○講師: 教育局国際交流員 ヴァン・エリカ          ○ワークショップ</p> <p>第3回 8月20日(水) (オンライン実施)          ①起業家講演会              講師: 武蔵野大学アントレプレナーシップ学部長補佐 津吹達也氏          ②シンガポール現地レポート (自治体国際化協会シンガポール事務所)          ③校友会(OBOG)との交流会</p> <p>第4回 9月13日(土) 模擬国連ワークショップ① (彩の国すこやかプラザ)          講師: 共立女子大学 中村長史氏          ○テーマ 「イラク危機」          ○議題概説、会議準備・会議、大学紹介</p> <p>第5回 10月4日(土) (オンライン実施)          ○午前: 留学出前講座 (埼玉県国際交流協会グローバル人材育成埼玉)              ・海外留学経験者による講演・質疑応答等          ○午後: グローバル人材育成講演会              講師: 経済産業研究所コンサルティングフェロー 竹内舞子氏</p> <p>第6回 10月25日(土) 模擬国連ワークショップ② (彩の国すこやかプラザ)          講師: 共立女子大学 中村長史氏          ○テーマ 「イラク危機」          ○会議、大学紹介</p> <p>第7回 11月8日(土) 模擬国連ワークショップ③ (彩の国すこやかプラザ)          講師: 共立女子大学 中村長史氏          ○テーマ 「イラク危機」          ○会議、振り返り (担当国の視点・一個人の視点)、大学紹介</p> <p>第8回 11月21日(金) シンガポール大使館訪問 (在京シンガポール大使館)          ○ジン・ハンウォン参事官によるプレゼンテーションと質疑応答          ○写真撮影</p> <p>第9回 12月13日(土) 保護者説明会及び壮行会 (県民健康センター)          ○渡航直前保護者説明会          ○壮行会 激励 (県立学校部部長 田中 邦典)          ○生徒による決意表明</p> <p>第10回 2月9日(月) 報告会・閉講式 (県民健康センター)          ○参加生徒からの報告 (各班発表)          ○教育長、教育委員との懇談会          ○教育長挨拶</p>
国外研修	1月17日(土)～1月24日(土) シンガポール・マレーシアへ派遣

## 2 参加生徒による国外研修の記録

(以下の文章は参加生徒によるものです。)

第1日 令和8年1月17日(土) 天気: 雨のち曇り		
地名	時間	主な日程
成田空港	7:30(JPN)	成田空港に集合・出発の案内・出国手続き
	10:00(JPN)	出発
チャンギ空港	16:30(SG)	到着・バス移動
ホテル	18:00	ホテルロイヤル到着
	18:30	夕食

国内研修を終え、全員が待ちに待ったであろう初日が始まった。成田空港に集まった全員は緊張している様子はなく、リラックスしていた。7時間のフライトを終えシンガポールに着いたときは日本とは真逆の暑さに驚愕した。ホテルに着いた後はシンガポールで初の食事をした。一部はどんな料理かも分からずに食べていたが皆食事を楽しんでいた。その後はスーパーに行って各々が水やお土産を買った。特別な出来事はなかったがこの初日は多くの人にとって見る景色や環境の違いなどすべてが新鮮に感じられた日となった。



第2日 令和8年1月18日(日) 天気: 晴れ		
地名	時間	主な日程
シンガポール各地	9:00	シンガポール市内フィールドワーク(各班) (現地大学生同行・B&Sプログラム)
	17:00	B&Sプログラム終了・夕食 ホテルへ移動・ホテル着
	19:00	
	19:30~21:00	振り返り・発表

2日目、この日から本格的に研修が始まった。現地の大学生の案内のもと、班に分かれてシンガポール各地を歩いた。マーライオン公園・シンガポール植物園・リトルインディア・チャイナタウン・アラブ人街など各班が様々な観光名所に行った。多くの観光名所をめぐる過程で観光客の他に様々な民族の人々を見てシンガポールが多民族国家であることを実感させられた。駅で数駅移動しただけで街並の景色がガラリと変わり、日本にはない光景に感動と驚きを覚えた。B&Sプログラム終了後はみんなと焼き肉を楽しんだ。その後ホテルに戻り、振り返りと明日の授業のテーマである環境や本日の内容について、英語で話し合いをした。二日目から一日中歩き回るというスケジュールだったが、みんなシンガポール純粋に楽しむこともできた。



第3日 令和8年1月19日（月）天気：晴れ

地名	時間	主な日程
シンガポール 国立大学 市内レストラン ホテル	9:00  18:00 19:15 19:30 ～ 21:00	シンガポール国立大学(NUS)授業 【テーマ:環境】学生との交流・現地講師による授業 夕食 ホテル到着/各部屋へ 振り返り・発表

今日はシンガポール国立大学に行って講師のジョンからシンガポールの環境問題への向き合い方を学んだ。私は中でも循環型経済(circular economy)はとても良いと思った。シンガポールは日本と比べると土地が狭く、山などの資源も少ない。だから”人”が資源である。働く環境が良いと人々がよりよく働くことができ、より良い商品ができる、売り上げも増える、給料が上がる、というように目の前の一つの問題を見るのではなく、先を見据えて実行したその後を考えた計画が印象的だった。これこそが持続可能ではないか。話し合いや発表、ディベートなど自力で意見を組み立てて表現する1日だったので頭はつかれたが、自分の知識も力も試し、全員、後悔が残らないように率先して多くの挑戦ができていたと思う。



第4日 令和8年1月20日（火）天気：晴れ

地名	時間	主な日程
シンガポール 市内	09:00 09:45	シンガポール市内フィールドワーク 【環境】 ガーデンズバイザベイ (フラワードーム/クラウドフォレスト) 【都市開発】
ホテル	12:00 15:00 18:00	マリーナベイサンズホテル チャンギ国際空港 研修プログラム ホテル到着/夕食

今日はフィールドワークがメインだった。植物園はエアコンなどではなく、水が通っていて涼しいと知って驚いた。フラワードームでは外観だけでも綺麗だと思ったスーパーツリーグローブが雨水をキャッチして水やりなどに活用していると教わりあらゆる所に持続可能な仕組みがあると気付いた。空港では空港で行っている取り組みを、講義と体験型の施設で飽きずに学べるようになっていた。



第5日 令和8年1月21日（水）天気：晴れ

地名	時間	主な日程
シンガポール ジョホールバル	7:15 9:30 13:00 16:00	マレーシア・ジョホールバルへ マレーシア工科大学（UTM）との学校交流 プライ村（農村）訪問体験、昼食 プライ村でのセレモニー
シンガポール ホテル	17:00 19:00 20:30	シンガポールへ再入国 夕食（ホテル） 振り返り

5日目は、陸路でシンガポールからマレーシアへ向かった。マレーシアでは、UTM（マレーシア工科大学）の学生やホームステイ先の人々と交流しながら異文化を体験することができ、貴重な経験となった。UTMでは、学生と互いの生活について話しながら、共通点・相違点を探して協力して発表し、ホームステイ先では、マレーシアの民族衣装を着たり、マンカラという伝統的な遊びを教えてもらったりして、異文化に触れた。特に昼食では、初めてカレーを手で食べ、慣れない食べ方に戸惑いながらも楽しんで食事ができた。



第6日 令和8年1月22日（木）天気：晴れ

地名	時間	主な日程
シンガポール (NUS)	9:00	シンガポール国立大学（NUS）授業【テーマ：異文化】 昼食（お弁当） シンガポール国立大学（NUS）授業
市内レストラン ホテルロイヤル	18:00 19:30	夕食（インド料理レストラン） 振り返り・発表

6日目は、NUS（シンガポール国立大学）で異文化をテーマに学んだ。国力を平和と武力のどちらに割くかというゲームから始まり、授業の合間にはシンガポールの伝統的な遊びを教わった。授業では、シンガポールの成り立ちや多文化共生について学び、「マーライオンがなぜライオンの頭部に魚の体をしているのか」などのユニークな問いにも答えた。夕食は、RED CHILLIESというインド料理屋で、想像以上の辛さに驚きながら様々なカレーを楽しんだ。また、振り返りの時間には、今までの講義で学んだことをクイズを交えて振り返り、白熱した良い振り返りとなった。



第7日 令和8年1月23日（金）天気：晴れ

地名	時間	主な日程
ワンノース	9:00	Garuda Robotics（ドローンの企業）の方の講義
	12:00	昼食
マリーナバラーヂ	13:00	水問題について
ワールドバンク	14:00	World Bankの方の講義
	16:00	都市再開発庁見学
市内レストラン	17:00	夕食
ホテル	19:30	振り返り

午前中はワンノースを訪れ、Garuda Roboticsでドローン技術について学んだ。実際の活用事例を通して、最先端技術が社会課題の解決にどのように役立っているかを理解することができた。昼食後はマリーナバラーヂを訪問し、水資源管理や都市の治水対策について、3日目に大学で学んだ内容を実際に目で見た。その後、ワールドバンクではその役割などについて学んだ。講義はどちらも英語の説明が早く聞くのに苦労した。URAでは都市再開発の取り組みや、計画的な街づくりの重要性を実感した。夕方は市内レストランで夕食をとり、ホテルに戻って一日の振り返りを行った。多くの施設を訪問し、シンガポールの都市政策や技術力への理解が深まった一日となった。



第8日 令和8年1月24日（土）天気：晴れ

地名	時間	主な日程
チャンギ空港	7:20 (SG)	出国手続き
	9:00 (SG)	出発
成田空港	18:00 (JPN)	到着・解散

7日間の研修を終えて、いよいよ帰国の日を迎えた。早朝にホテルを出発し、空港に向かった。1週間の疲れもあり、帰りの飛行機では多くの人が寝ていたが、無事日本に到着し、それぞれ帰路につき、研修は解散となった。



### 3 参加生徒のアンケートより (一部抜粋)

#### ○ 国内研修で成長した点

- ・自分の決断や考えに自信が持てるようになったことだ。以前までは自分なりのアイデアを公にできないことが多くあった。しかし、研修、特に模擬国連研修を通して、相手と話しながら、瞬時に考え、判断したことに対して自信を持てるようになった。
- ・多様な価値観に触れる中で、物事を広い視点で捉え、根拠を持って意見を述べようとする姿勢が身につく、自分の考えを言語化する力が大きく伸びました。
- ・複雑な国際関係を多角的に読み解き、多くの国の意見を取り込んで議論をすることで交渉力や思考力が以前よりも成長しました。
- ・今までは自分の意見をどうやって通すかということを中心に考えてきましたが、この国内研修を通じ、ちょうど良い落とし所を見つける事ができるようになりました。

#### ○ シンガポール研修で、過去の自分と比べて成長したこと

- ・シンガポール研修を通して、環境や多様性など絶対的な答えがない問題について深く考える力がついた。また、自分の意見を日本語、英語で相手にわかりやすく、論理的に伝えられるようになった。
- ・チャレンジ精神と人前で目立つ度胸がつけました。元々人前に立つことが苦手で不甲斐なく感じていましたが、研修で挙手、挑戦、発表を繰り返したことで、目立つこと、挑戦することがむしろ楽しくなりました。
- ・成長したものは、自分の考えをわかりやすく簡潔にまとめる能力、また自分の意見を出していく積極性は少しでも向上したと考えている。今までの自分の意見は論点が掴みにくく脱線しやすいものだったが講義などを通して意見の論点をわかりやすくできるようになったと思う。
- ・一番成長したと感じるのはコミュニケーション力です。今までは人と話すことが苦手でしたが、この研修では間違いを受け入れる雰囲気があり、英語も日本語も、自分から話しかけるなど同じ大切なことに気づけました。
- ・私は英語での会話に弱く、自分に意見があっても伝えられないと思って発言を諦めていたが、様々な講演を聞いて意見発信の大切さを学び、間違った英語でもいいから相手に伝えようと努力できるようになった。
- ・研修前は英語力に全く自信がなく、あまり発表もしたくなかった。今回の研修で英語力の足りなさや難しさを改めて感じたが、同時に自分のレベルでも通用する部分があることが自信をつけることにつながった。

- ・自分は「英語力」はもちろん「論理的思考力」も鍛えることができたと思います。前は、表面上だけしか考えられなかったものの、研修後は根拠や原因などより深いところまで考えられるようになったと思います。
- ・国内研修、シンガポール研修を終えて、自分の足りていないところに気付けたことが過去の自分と比べて成長したことだと思います。しかし、このことに気づけたことは、プレゼン力の向上につながったと感じています。これからも自分自身と向き合い、他人の長所をどんどん取り入れていきたいです。

## ○ プロジェクト全体の経験を今後どう生かしていくか

- ・多様な価値観の中で協働した経験を活かし、相手の立場を理解して尊重しつつ、自分の意見もしっかりと持って主体的に行動することで、様々な課題に対して柔軟な考えを持ち、周囲と協力しながら解決に貢献していきたいと思います。
- ・得た知識をプレゼンすることの楽しさを学んだ。元々教員を志望していたが、この研修を通して現地のガイドなど教員以外にも何かの魅力を伝える仕事はあると気づいたので視野を広げて進路選択に役立てたい。
- ・異文化が当たり前である人達の意見を聞いて、自分も多文化共生社会にも参入できるような人間になり、日本から世界をターゲットにして行動を起こせるようになりたいと感じた。
- ・まずはこの経験を英語の勉強の指針にしていきたいと思います。またこの研修を通じて幅広い分野の知識を持っていることが大事だとわかったので自身で幅を決めずに学んでいきたいです。
- ・異文化や他者の意見など様々な価値観に興味をもち、積極的に知ることによって、国際的な視野を広げたい。また、その過程の面白さや他者への尊重の大切さを伝えられる教育者を目指して今後も勉学や国際交流に励みたい。
- ・異文化を知り、自分と異なる立場の意見を考慮する大切さを学んだ。今後社会問題や個人のトラブルの解決策を考える際には、多角的でグローバルな思考を持ち、多様な意見をまとめるリーダー的立場となるつもりだ。
- ・私は、このプロジェクトで得た能力や経験を忘れずに普段の生活に活かし、自分の意見も相手の意見も尊重しながら物事を解決したい。そして、決断に迷ったときはこの研修を思い出して様々なことに挑戦していきたい。
- ・この研修で学んだ自分らしいリーダーシップのとり方を、今後の集団での企画・学習面で実践する。レベルの高い仲間たちに揉まれ過ごしたことを糧にして、どんな人が相手でも失敗を恐れずに発言できるようにする。